

平成28年度国立大雪青少年交流の家施設業務運営委員会第1回事業部会議事要旨

日時：平成28年6月6日（月）15:00～16:00

場所：国立大雪青少年交流の家 第3研修室

運営委員出席者：大島部会長，飯塚委員，村上委員，佐藤委員，吉川委員（浜田委員代理）
計5名

欠席者：目黒委員，石田委員

計2名

大雪青少年交流の家（事務局）

出席者：阿部所長，久保企画指導専門職，村澤企画指導専門職，国枝企画指導専門職
計4名

【●事務局 ○部会長 □委員(長)】

●開会宣言

会議時間・資料確認，委員の確認，新職員の自己紹介。
以下部会長による進行

【議題1，3について】

○部会長

議題1「平成28年度事業方針」、議題3「平成28年度国立大雪青少年交流の家教育事業・『体験の風をおこそう』運動推進事業計画一覧」について説明してほしい。

●事務局

議題1について，機構本部の教育事業部が示した「平成27年度事業方針」について昨年度との変更点を中心に説明。

- ・旧モデル事業を「地域の教育力を向上させるためのプログラム開発事業」として実施。
- ・これについては，ワイルドライフキャンプが該当。企画段階から関係機関・団体と検討委員会をもつ。
- ・体験活動推進員養成研修の施行については，大雪は昨年度から先駆的な取り組みを進めている。
- ・「幼児期の遊びを中心とした運動プログラムの推進」が追加され，幼稚園・保育園等に出前事業を実施し，普及を図る。

議題3について、「平成28年度国立大雪青少年交流の家教育事業・『体験の風をおこそう』運動推進事業計画一覧」に沿って各事業について説明。

- ・地域力向上事業のワイルドライフキャンプ、文部科学省の委託事業のユースオブワールドについて昨年度の活動を報告。

○部会長

今年度の本部の事業方針と大雪の事業計画一覧についての説明があった。質疑を求める。

□委員

2ページに特別事業とあるが、一覧の中にはないがどうしてか。

●事務局

本部として27施設のどこかでやる。ネットについては首都圏のいくつかの施設が実施する。

□委員

一部が実施するということか。

●事務局

そのとおり。年末の所長会議で実施するところが決定される。

○部会長

分析がすごい。施設としては、全体的な印象についてポジティブ、ネガティブどちらを期待しているのか。ネガティブな方が事業の成果があるのではないか。

●事務局

子供たちは、ネガティブな体験を克服してポジティブな印象を持つ。小さい子供も周りのフォローで頑張れる。ネガティブな体験は必要だが、最後は達成することでポジティブな印象を持つ。

□委員

地域力向上等とはどういうことか。

●事務局

先駆的な事業を実施し普及していくよりも、地域にある教育資源を見直し地域の教育力を活用していく。

【議題2について】

○部会長

議題2「平成28年度事業部会計画」について説明してほしい。

●事務局

今年度の教育事業について、10の計画と成果目標をたてている旨を説明。

1. 企業・民間団体との連携事業を3つ以上実施。
2. すべての教育事業で募集定員を充足。
3. すべての教育事業の募集開始を5週間前に実施。
4. 企画段階から関係団体等との検討委員会を実施（ユースオブワールド、体験の風フォーラム）
5. 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上。80%以上の参加者から満足の評価を得る。
6. 「早寝早起き朝ごはん運動」の推進。リレーションシップ事業で実施。
7. 幼児期の遊びを中心にした運動プログラムの推進。5か所以上の実施。
8. 「体験の風をおこそう」運動の普及。道内全市町村のエントリーを得る。

今年度は、委員の皆様には教育事業での協働をお願いしたい。浜田委員、飯塚委員にはユースオブワールドの委員。石田委員にはワイルドライフキャンプの企画委員。飯塚委員にはワイルドライフキャンプで一コマお願いする。目黒委員は体験の風キャンプでのプログラム提供。佐藤委員には「体験の風をおこそう」運動の協力。浜田委員には冒険キッズでの協力。村上委員には、冒険キッズでのプログラム協力。大島部会長には、幼稚園への出前事業でのパイプ作りなど、運営する側に入ってくださいご意見いただきたい。

○部会長

議題2「平成28年度事業部会計画」について一緒に創り上げるという趣旨の説明があったが、幼児期の遊びを中心にした運動プログラムを推進することは素晴らしいが、出前だけでメリットがあるのか。その先に何を想定しているのか。

●事務局

最終的には、大雪の施設や周辺を活用したプログラムを実施し、施設を利用していただくことを考えている。まずは出向いて体験していただく。

□委員

きっかけを作ることが大切で、小さい子に対して一生懸命やっていただくのはよい。

□委員

稼働率よりも事業の質をあげるということか。

●事務局

質も上げるが、稼働率も上げていく。

○部会長

今年度の方針、計画について、御意見をいただいた。事務局と委員で積極的に事業に取り組んでいきましょう。

●事務局

(閉会宣言)